

Quest®



KACE®システム導入アプライアンス7.0

リリースノート



# 目次

Quest® KACE®システム展開アプライアンス7.0リリースノート.....	3
このリリースについて.....	3
新機能と拡張機能.....	3
廃止された問題.....	5
解決済みの問題.....	5
既知の問題.....	9
システム要件.....	15
製品ライセンス.....	15
インストール手順.....	15
更新の準備.....	15
通知更新を使用したアプライアンスの更新.....	16
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	16
追加のリソース.....	17
グローバリゼーション.....	17
当社について.....	18
テクニカルサポートのリソース.....	18
法的情報.....	18

# Quest® KACE®システム展開アプライアンス7.0リリースノート

このリリースノート文書は、Quest KACE システム導入アプライアンス ( SDA ) バージョン 7.0 に関する情報を提供します。

## このリリースについて

KACEシステム展開アプライアンス ( SDA ) は、イメージのキャプチャと展開を行うためのネットワーク中心のソリューションを提供します。KACE SDAはシームレスなクロスプラットフォームのイメージ処理ソリューションを提供するので、ユーザーは1台の管理者コンソールからMicrosoft® Windows®プラットフォームおよびApple® OS X®プラットフォームをプロビジョニングできます。また、ユーザーは1台のデバイスまたは同時に複数のデバイスに、設定ファイル、ユーザープロファイル、およびアプリケーションをイメージとして展開できます。

KACE SDAは、同種および異種の両方のハードウェア環境における展開を自動化するのに必要なツールを提供し、マルチキャスト機能とタスクエンジン機能により、大規模なイメージ展開を高い信頼性で実現できます。ビルトインのドライバフィードにより、デルのドライバモデルが自動的にダウンロードされ、パッケージ管理機能を使用することにより、サードパーティ製のドライバパッケージをアップロードすることもできます。また、KACE SDAをKACEシステム管理アプライアンス ( SMA ) と統合することでKACE SMAインベントリのイメージを作成することもできます。KACE SDAは、仮想アプライアンスとして使用できます。

KACE SDA バージョン 7.0 は製品のメジャーリリースであり、新機能、拡張機能、問題解決が含まれています。

## 新機能と拡張機能

次の新しい機能と拡張機能がこのリリースに組み込まれています。

### 新機能と拡張機能

機能	問題 ID
CentOS 6/7 の Linux スクリプトインストールをサポートできるようになりました。	ESMEA-5212
必要に応じて、製品ページに情報テキストブロックを追加しました。	ESMEA-5103
メンテナンス期限切れアラートメッセージを更新して、詳細情報と追加詳細を含むページのリンクを追加しました。	ESMEA-5071
startnet.cmd ファイルの Samba 共有パスワードを更新しました。	ESMEA-5058
Syspreped イメージに必要な再起動回数を計算して、自動ログオン回数を設定するチェックボックスが追加されました。	ESMEA-4950

機能	問題 ID
さまざまなアップデートやツールが利用できるのは、アクティブメンテナンス中のお客様だけになりました。	ESMEA-4947
Mac OS X のメディアマネージャページに、サポートされている OS バージョンを示すテキストを追加しました。	ESMEA-4913
Windows Server 2019 を、ソースメディアメタデータ OS リストに追加します。	ESMEA-4911
このアプライアンスで、Ubuntu 16/18 用の Linux スクリプトインストールがサポートされるようになりました。	ESMEA-4907
このアプライアンスで、Red Hat Linux 6/7 用の Linux スクリプトインストールがサポートされるようになりました。	ESMEA-4906
ドライバフィード リストページに、ドライババージョンの列を追加しました。	ESMEA-4876
新しく収集されたデータや機能を、ステータス概要レポートに追加しました。	ESMEA-4875
保存、キャンセル、その他のボタンが、ページの下部にフロート表示されるようになりました。	ESMEA-4874
アプライアンスでは、有効期限切れのメンテナンスライセンスの .kbin アップグレードが制限されます。	ESMEA-4873
イメージを取得して導入しやすいように、進行状況バーが KBE ( KACE 起動環境 ) ページに統合されました。	ESMEA-4868
Windows Media Manager が .NET で書き換えられて、KBE Manipulator の機能が追加されました。	ESMEA-4862
新しく作成されたアプライアンスに、ディスク暗号化を追加しました。	ESMEA-4833
アプライアンスは、パスワード暗号化に sha1 を使用しなくなりました。	ESMEA-4832
KBE ロードレジストリで、config ファイルが自動検出されるようになりました。	ESMEA-4811
データ移行ログが、管理者コンソールに表示されるようになりました。	ESMEA-4766
MAC アドレスの追加 列を、デバイスインベントリ ページに追加しました。	ESMEA-4755
FreeBSD が、11.1 から 12.0 にアップグレードされました。	ESMEA-4743
自動ログオン回数の設定スクリプトが、デフォルトの中間レベルタスクとして追加されました。	ESMEA-4707
アプライアンスチャットではチャットセッションを開始する前に、トピックを確認してサポート技術情報ライブラリで解決策を検索します。	ESMEA-4706 ESMEA-4456
インポートするパッケージをアップロードするダイレクトリンクを、パッケージ管理 ページに追加しました。	ESMEA-4696

機能	問題 ID
USMT スキャンテンプレートに、フラグを追加しました。	ESMEA-4681
インストールプラン領域に、いくつかの機能強化を追加しました。	ESMEA-3552
ハードウェアインベントリをアップロード リンクが、KBE ページから削除されました。	ESMEA-664
ドライバには、ディスク使用率 グラフに独自のセクションが用意されています。	ESMEA-634
アプライアンスでは、.wim ファイルをイメージとしてインポートして置換できません。	ESMEA-95

## 廃止された問題

このリリースでは、次の問題は廃止されました。

### 廃止された問題

廃止された問題	問題 ID
<p><b>i</b>   <b>重要:</b> PGM ( Pragmatic General Multicast ) マルチキャストプロトコルは、製品から削除されました。</p> <p>回避方法: マルチキャストプロトコルはデフォルトで NORM ( NACK-Oriented Reliable Multicast ) に設定されている、唯一のオプションです。PGM が既存の起動アクションのデフォルトプロトコルとして以前に選択されていた場合、この設定はアップグレード中に NORM に自動的に変更されます。</p> <p><b>i</b>   <b>注:</b> ネットワーク環境や条件に応じて最大伝送速度を上げられるため、より信頼性の高い NORM プロトコルをより高いレートで使用できます。</p>	ESMEA-4374

## 解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

### 解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
デコードされたソースまたはターゲットの移行キーが改行文字と一致しなかった場合、移行ウィザードがエラーを生成します。	K2-7304
容量の問題により 2 台目のドライブでキャプチャが実行された際に、進行状況バーに誤ったドライブ文字が表示されました。	K2-7303
ダウンロードされたキャプチャログに、改行がありませんでした。	K2-7302
APPLIANCE_MAINTENANCE_STATUS データベースエントリが、移行されなくなりました。	K2-7289

解決済みの問題	問題 ID
アプライアンスがサービスに到達できなかった場合、6.1 メンテナンスが非アクティブに設定されました。	K2-7288
アプライアンスがサービスに到達できなかった場合、7.0 メンテナンスが非アクティブに設定されました。	K2-7286
VNC は、64 ビット KBE でコマンドプロンプトウィンドウを表示できませんでした。	K2-7282
clientdrop 共有から 2 GB を超過するファイルをアップロードすると、誤ったファイルサイズが表示されました。	K2-7280
ターゲットアプライアンスで SSH が最初に有効化されていなかった際に移行が停止して、BACKUP_IN_PROGRESS が yes に設定されたままになるのでサポートコールが必要でした。	K2-7276
一部のデバイスで PXE ( Preboot eXecution Environment ) による起動を試行すると、次のエラーが発生してデバイスの起動に失敗しました。ステータス: 0xc0000017	K2-7270
ターゲットデバイスで SSH 経由のルートログオンが無効になっている場合、移行を開始できませんでした。	K2-7241
ファイルシステムの内容が、サポートトラブルシューティングツール ページに表示されました。	K2-7238
IP アドレスではなくホスト名が使用されていて DNS A レコードが欠落している場合、移行がハングしました。	K2-7219
SDA ステータス概要レポートページのスクリプトインストールの詳細情報 テーブルに、再起動が必要である旨の詳細情報が誤表示されました。	K2-7216
ユーザープロファイルの作成中に、ホスト名フィールドの不適切なエスケープが報告されました。	K2-7214
ユーザープロファイルの作成中に、DOM ( ドキュメントオブジェクトモデル ) XSS ( クロスサイトスクリプティング ) が ユーザー名 フィールドで確認されました。	K2-7213
オフボードストレージにデータを移行した後、Successfully copied data to Onboard Storage ( オンボードストレージにデータが正常にコピーされました ) というメッセージがログに表示されました。	K2-7212
ターゲットまたはターゲットボックスでの移行後、Samba 共有パスワードがデフォルトの管理パスワードに設定されました。	K2-7193
DOM ベース XSS が、総当たり検出 の設定で報告されました。	K2-7190
XSS が、SNMP コミュニティ文字列 フィールドに保存されました。	K2-7189
KBE のマルチバイト文字列で、タスク名が文字化けしました。	K2-7164

解決済みの問題	問題 ID
パッケージ管理 ページの パッケージのアップロード リンクを使用して 1.5 GB を超過するパッケージをアップロードする際に、エラーが表示されませんでした。	K2-7162
システムイメージ リストページのカウン트가間違っていました。	K2-7160
作成に失敗してアップロードでゼロバイトと表示された際に、ユーザーが KBE を削除できませんでした。	K2-7159
特定のタスクタイプで、KBE ページの前に画面が表示されました。	K2-7158
移行ウィザードの実行時に SSL が有効になっていた場合、リンクが SSL を有効にできませんでした。	K2-7145
パスベースの XSS の脆弱性が報告されました。	K2-7140
アプライアンスおよび RSA ( リモートサイトアプライアンス ) で、総当たり検出エラーメッセージが誤っていて、表示された試行回数と所要時間が間違っていました。	K2-7139
ユーザープロファイル リストページをズームしているときに、アプライアンスと RSA ではキャプチャされたユーザーの状態が表示されなくなっていました。	K2-7138
システムイメージまたはスクリプトインストールの「自動展開」では、進行中の自動展開エントリにノード MAC アドレスが含まれず、展開の進捗状況を更新できませんでした。	K2-7137
インストールプランで使用可能なタスクが、アルファベット順に自動的にソートされませんでした。	K2-7136
K イメージと WIM イメージのスタンドアロン展開で、期待どおりの進行状況 ( またはコマンドプロンプトの関連する割合 ) が表示されませんでした。	K2-7135
インストールプランタスクで、順序の問題が報告されました。	K2-7134
展開プロセス中に キャンセル ボタンをクリックすると、システムが再起動されるまで進行状況バーが継続的に表示されました。	K2-7133
CVE-1999-0517. このバージョンでは、デフォルトの SNMP コミュニティ文字列が変更されています。	K2-7132
RSA の システムイメージ リストページで SDA イメージを選択して削除できたため、エラーページが表示されました。	K2-7131
ユーザープロファイルをオンラインでキャプチャしている間に、画像上のテキストが表示されました。	K2-7128
デバイスインベントリ リストページで、ラベルが一部隠れていました。	K2-7127
アプライアンスの電源をオフにしようとした後に表示されるメッセージが、再起動メッセージと同じでした。	K2-7125

解決済みの問題	問題 ID
オフラインのスキャンでイメージに添付したユーザープロファイルを展開する際に、展開にユーザープロファイルが利用できない場合、サーバで使用可能なユーザープロファイル テーブルが空でした。	K2-7118
オフラインユーザープロファイルのスキャンで、このデバイスで使用可能なユーザープロファイル テーブルの列が紛らわしいタイトルになっていました。	K2-7117
展開レポートに表示される IP アドレスと MAC アドレスが、紛らわしい場合がありました。	K2-7088
電子メールを送信する際に、アプライアンスは電子メール認証の基準に準拠していませんでした。	K2-7087
未処理の例外が、次のように報告されました。mysqli error: [1048: Column 'IM_DEPLOYMENT_LOG_ID' cannot be null] in EXECUTE("insert into IM_DEPLOY...	K2-7076
エラーが、次のように報告されました。KLinkManager::UnsealData(): openssl_open failed.	K2-7075
警告メッセージのドイツ語翻訳が、紛らわしい表現でした。	K2-7073
FreeBSD: TCP 再アセンブルで、リソース不足が検出されました。詳細については、 <a href="https://www.freebsd.org/security/advisories/FreeBSD-SA-18:08.tcp.asc">https://www.freebsd.org/security/advisories/FreeBSD-SA-18:08.tcp.asc</a> を参照してください。	K2-7051
2 つ以上の単語で構成されるテキスト文字列の検索が、管理対象インストールのインポート ページで機能しませんでした。	K2-7050
clientdrop 共有を使用して大規模なアプリケーションタスクをアップロードすると、504 Gateway Timeout ページが生成される場合があります。	K2-7028
一般設定 ページで イメージングオプション が選択されている場合、アプライアンスまたは RSA にインポートされたイメージに対して サーバから直接展開 オプションがデフォルトで選択されませんでした。	K2-7025
FreeBSD: Lazy FPU 状態復元情報開示が検出されました。詳細については、 <a href="https://www.freebsd.org/security/advisories/FreeBSD-SA-18:07.lazyfpu.asc">https://www.freebsd.org/security/advisories/FreeBSD-SA-18:07.lazyfpu.asc</a> を参照してください。	K2-7018
RSA ログインページの名前が長すぎます。	K2-6988
セキュリティ: システムイメージを編集する際にファイルの参照をクリックすると、入力をチェックしなかったページでディレクトリ名が呼び出されました。	K2-6974
一部の環境では、アプライアンスまたは Samba を再起動するまで、KBE が共有を再マッピングしませんでした。	K2-6844
NetBoot 環境の作成に失敗する場合があります。	K2-6494
拡張可能なストレージに移行後、13G アプライアンスの Munin グラフディスクカテゴリがアップデートされませんでした。	K2-5893



解決済みの問題	問題 ID
Web サービス呼び出しにより、Samba パスワードが返されました。	K2-5822
管理者ガイド の用語参照が、管理者コンソールと一致していませんでした。	K2-5574
列の表示設定をする際に、デバイスインベントリ ページで文字列が重複していることが報告されました。	K2-5203
ネットワークスキャンインベントリのエントリは、以前に存在していて削除されたシステムが再インポートされた場合、意図したとおりに機能していませんでした。	K2-4572
drivers_postinstall ディレクトリが青で表示されて、RSA の依存関係の下で同期する必要があることを示しました。	K2-4489
メディアを RSA にアップロードしようとする時、メディアマネージャから誤ったメッセージが報告されました。	K2-3290
SSO ( シングルサインオン ) : SSO で KACE SDA サーバから KACE RSA サーバまたは KACE SMA ( システム管理アプライアンス ) サーバに切り替えると、切り替えられた管理者コンソールのドロップダウンリストにリンクされているアプライアンスがすべて表示されました。	K2-3241

## 既知の問題

次に示しているのは問題の一覧です。これには、サードパーティ製品に属する問題、リリース時点で存在が認識されている問題が含まれます。

### 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>PCIe ( Peripheral Component Interconnect Express ) バスを使用している NVMe ( non-volatile memory express ) により設定されているシステム上で Windows 7 のスクリプト形式のインストールを実行しているとき、次のエラーが発生します。</p> <p>Windows needs the driver for device [Standard NVM Express Controller]</p> <p>この問題はKACE SDAアプライアンスとは関係がないため、サポートが提供されていません。</p> <p>回避方法：次の回避方法は、そのままの状態をサポートなしで使用できます。詳細については、次の KB 記事をお読みください。</p> <p><a href="https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/185551">https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/185551</a></p>	Microsoft
バックスラッシュを使用するとプレインストールタスク、インストールタスク中、ポストインストールタスクのセクションで、メモが保存されません。	K2-7285
管理者コンソールでノードを削除中に、エラーが報告されます。	K2-7277
PXE 認証が有効になっている場合、Memdisk オプションは無視されます。	K2-7269
カスタム展開では、展開用のユーザープロファイルが表示されません。	K2-7266

既知の問題	問題 ID
RSA が利用できない場合、リモートサイト詳細 ページがタイムアウトするまでに時間がかかります。	K2-7246
大規模な管理対象インストール ( MI ) は、ポストインストールタスクとしてインポートされません。	K2-7245
SSL 中間証明書処理の問題が報告されます。	K2-7126
ファイルのコピー中にネットワークが不安定になると、KloneWin がハングします。	K2-7124
ライセンス制限に達した際に、ドイツ語の翻訳が紛らわしくなります。デバイスの上限 100 台に達したことが明示される必要があります。	K2-7073
管理対象インストールのインポート ページで、2 つ以上の単語を含む検索が機能しません。	K2-7050
clientdrop 共有を使用して大規模なアプリケーションタスクをアップロードすると、504 Gateway Timeout ページが生成される場合があります。	K2-7028
一般設定 ページで イメージングオプション が選択されている場合、アプライアンスまたは RSA にインポートされたイメージに対して サーバから直接展開 チェックボックスがデフォルトで選択されません。	K2-7025
KACE Systems Management Appliance ( SMA ) にオペレーティングシステム用に作成された管理対象インストール ( MI ) をインポートすると、ランタイム環境が KACE SDA サーバ上で Windows として表示されます。	K2-7000
KACE System Management Appliance ( SMA ) でオペレーティングシステムのすべて チェックボックスをオンにして作成された MI をインポートすると、ランタイム環境が KACE SDA サーバ上で Windows として表示されます。	K2-7000
KACE SDA Munin グラフはズームできません。	K2-6994
インポートまたはエクスポートの重複に対して、ユーザー警告が表示されません。	K2-6972
インポートまたはエクスポートの重複に対して、ユーザー警告が表示されません。	K2-6972
同じパッケージをインポートすると、アプライアンスに重複するエントリが作成されます。	K2-6964
タスクを保存したとき、リストページに戻ってリダイレクトされません。	K2-6943
ターゲットで SMB v.1 が無効になっている場合、オンライン USMT スキャンおよびオフボードパッケージ転送が失敗します。 回避方法 : USMT Advisor ツールを使用します。ツールは、サポートポータルまたはライブラリの概要ページからダウンロードできます。このツールは、このプロセス中に発生する一般的な問題に役立ちます。	K2-6775
ターゲットで SMB v.1 が無効になっている場合、オンライン USMT スキャンおよびオフボードパッケージ転送が失敗します。	K2-6775

既知の問題	問題 ID
<p>複数のvCPU ( 仮想中央処理装置 ) を搭載するVMware仮想マシンで、レガシーiPXE にPXEブートを実行できない。</p> <p>詳細については、次の KB 記事をお読みください。 <a href="https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/232911">https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/232911</a></p>	K2-6769
自動展開は、MAC アドレスを入力せずに作成されます。	K2-6762
システムイメージの USB キーを作成しても、ステータスメッセージは更新されません。	K2-6742
igb1 が 12G サーバでダウンして lagg が有効になっている場合、管理者コンソールにアクセスできません。	K2-6726
RSA と KACE SDA がリンクされている場合、RSA にリンクキーを再生成するときにエラーメッセージが表示されません。	K2-6724
Microsoft Internet Explorer 11 を使用してオフボードストレージに移行する場合、ページは予期したとおりに自動的にリダイレクトされません。	K2-6723
新しいポストインストールタスクを作成するときに、ポストインストールタスクのリストページに成功を示すメッセージが表示されません。	K2-6720
ブート環境詳細 ページで Mac OS NetBoot の 新しいブートアクション をクリックした後、表示される 自動展開の詳細 ページで 展開 フィールドが予期したとおりに設定されません。	K2-6665
一部のモデルは、デバイスの初期化段階の間にフリーズし、UEFI PXE起動時にKBEメニューに到達できません。	K2-6552
<p><b>i</b> 注: これは、製造元のBIOSバージョンに関する既知の問題です。BIOSバージョンをアップグレードまたはダウングレードすると問題が解決する場合があります。</p>	
13G ハードウェアでは、シリアル番号としてサービスタグを使用しません。	K2-6508
RSAでオフボードストレージを使用しているとき、MacクライアントマシンがRSAからNetBootで起動できません。	K2-6502
RSA がオフボードデータストアにある場合、Mac OS クライアントデバイスが RSA から Netboot で起動できません。	K2-6502
<p>ネットワークアダプタ設定NICが E1000E に設定された状態でESXi 5.xに作成された仮想マシン ( VM ) では、KACE SDAでiPXE ( UEFI用 ) を起動できません。</p> <p>回避方法 : VMネットワークアダプタ設定NICを E1000 に設定します。</p>	K2-6496
ドライバフィード ページのドライバのパスが一意ではない場合があり、ドライバフィードウィジェットで問題が発生することがあります。	K2-6495
<p>Mac OS X 10.11、ASR ( Apple Software Restore ) /Kイメージの導入時にNetBootログイン画面がクライアントマシン上に表示され、起動処理が設定されます。</p> <p>回避方法 : NetBoot環境でMac OS X 10.11用の前処理手順が完了するまで待機することをお勧めします。完了時にはログイン画面で画面の下部にパスワードボックス</p>	K2-6479

既知の問題	問題 ID
とKACE SDA IPが表示されます。また、導入の進行状況はKACE SDA管理コンソールで監視できます。 これらの処理が完了する前にログインが試行された場合は、KACE SDAイメージングユーティリティがドック上に表示されず、ユーザーがNetBoot環境へと再起動する必要があります。	
Mac イメージ展開が 10.11 NetBoot で起動アクションを使用して設定されている場合、NetBoot ログイン画面が表示されます。	K2-6479
SMB 署名のサーバ設定が無効になっています。	K2-6409
Dell ドライバフィールド設定 ページで、drvstr.cfg ファイルがアップデートおよびダウンロードされても、前回更新時 フィールドが変更されません。	K2-6094
RAID の 低下 および 再構築 ステータスが 13G サーバコンソールに表示されません。	K2-6062
RSA 上の拡張可能ストレージからの逆方向に移行後、Mac OS デバイスが NetBoot できません。	K2-5910
アプライアンスのパフォーマンス ページに、外部ストレージのディスク使用率が表示されません。	K2-5893
自動展開の進行状況 ページをノート PC から表示したとき、2 つのクライアントのみのステータスしか表示されません。	K2-5763
KACE SDAからASRイメージがキャプチャされていない場合、インポートされたASRイメージの展開が失敗します。  注: アプライアンスは、アプライアンスからキャプチャされたASRイメージ用にImageStoreディレクトリを作成します。	K2-5758
回避方法 : petemp ディレクトリに ImageStore フォルダを作成します。	
ASR キャプチャが一度も実行されていないアプライアンスにインポートされた場合、ASR の展開は失敗します。	K2-5758
パスワードに連続した「\$」文字が含まれている場合、Samba 共有にアクセスできません。	K2-5605
USB の作成プロセスが完了するまで、システムイメージ詳細 ページがロックされたままになりません。	K2-5586
RAID アレイの最後のドライブがない場合、RAID ページで誤った情報が報告されません。	K2-5490
Wake-on-LAN ( WOL ) は Apple 製品には適用されません。これについては、予定とおり記載されません。	K2-5462
展開可能なストレージ移行ステータスには、ヨーロッパ地域で想定されているとおり、カンマの 10 進数値が使用されません。	K2-5395

既知の問題	問題 ID
デュアルパーティションマルチキャスト WIM 展開では、最初のドライブまたはパーティションのみが展開されます。	K2-5393
一部のリストページの特定の列で、列幅のサイズ変更機能が機能しません。	K2-5277
新しいブートアクション オプションは、異なる詳細ページ間で一貫していません。	K2-5181
コンピュータ名を含まない ASR が展開されたときにコンピュータ名を適用すると、空白のコンピュータ名が設定されます。	K2-4551
Mac OS のドメインへの参加 ポストインストールタスクスクリプトでは、有効なホスト名の割り当てを確認しません。また、ホスト名が見つからない場合、期待されるとおりにステータスコード「0」で終了しません。	K2-4528
スケジュール済み起動アクションの作成または更新中に、一度実行の date オプションに無効な日付の指定が許容されています。	K2-4197
Wake On LAN の送信 オプションを使用して、仮想クライアントマシンの電源をオンにはできません。	K2-3836
入力した NetBoot パスワードが一致しない場合、Mac メディアマネージャにエラーメッセージが表示されません。	K2-3713
拡張可能なストレージの設定中、不正な NAS IP アドレス形式が許可されます。	K2-3708
KACE SMA と KACE SDA がリンクされると、2 つのネットワークインタフェースカード (NIC) を備えたクライアントマシンに対して 2 つの起動アクションが作成されます。	K2-3226
複数のライセンスキーを持つ KACE SDA サーバが 3.4.56712 にアップグレードされると、複数のライセンスキーが存在します。	K2-3220
サーバから中間証明書が削除されると、中間証明書の値がデータベースで正しく更新されません。	K2-3058
イメージ内にはないローカルファイルの削除 をクリックしても、非システムドライブからローカルファイルが削除されません。	K2-2855
KACE SDA のライセンスが期限切れになったときに、KACE SDA デバイスインベントリに含まれていない Mac® デバイスを起動すると、「ライセンスが限度を超えました」というエラーメッセージがターゲットデバイスに表示されません。ターゲットデバイスが、アプライアンスからの起動を何度も試行します。	K2-2815
K2000 パッケージのエクスポート ページに表示されているパッケージが、バックアップされたバージョン 列で正しくソートされません。	K2-2756
KACE SDA ボックスに NetBoot を実行すると、クライアントに 2 つの IP アドレスが割り当てられます。	K2-1157

## Hyper-Vの既知の問題

既知の問題	問題 ID
Microsoft Hyper-V® Server で日付または時刻が変更されても、システムに反映されません。	K2-6996
Hyper-V の同期に関する問題が報告されています。	K2-6755
Microsoft Hyper-V®でのアップグレードで適切なディスクパーティションがマウントされない場合があります。	K2-6561
同期が完了したとき、RSA ステータスが自動的に更新されません。	K2-6558 ESMEA-2896

## マルチキャスト展開の既知の問題

既知の問題	問題 ID
ユニキャストの代わりにマルチキャストを介して、2 つまたは複数のパーティション WIM イメージを展開すると、最初のパーティションのみが展開されます。 回避方法：この問題で利用できる回避策があります。詳細については、次の KB 記事をお読みください。 <a href="https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/212975">https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/212975</a>	K2-5393
エラー発生時に、マルチキャスト展開が続行されません。 回避方法：マルチキャスト展開を、エラー発生時に続行するように設定しないでください。	K2-4180 ESMEA-624

## リモートサイトアプライアンスの既知の問題

既知の問題	問題 ID
オフボードストレージからオンボードストレージへの逆方向の移行中にRSAを再起動すると、RSAにアクセスできなくなります。 <b>i</b> 注: データ損失を防ぐには、RSA データを別の場所またはデバイスにエクスポートします。逆方向の移行が完了するまで、RSA の電源を切ったり再起動したりしないでください。	K2-3775 ESMEA-3168
メディアを RSA にアップロードしようとする、メディアマネージャに次のエラーメッセージが表示されます。「無効な応答です。指定したホスト名を確認してください。」 回避方法：ホスト名またはIPアドレスがKACE SDA ( RSAではない ) のホスト名またはIPアドレスであることを確認してください。	K2-3290
リンク先アプライアンスを切り替えると、管理コンソールの右上隅にあるドロップダウンリストに、シングルサインオン ( SSO ) を使用してKACE SDAからログインしたすべてのアプライアンスではなく、リンク先アプライアンスのみが表示されません。	K2-3241

# システム要件

バージョン 7.0 をインストールするために必要な最小バージョンは、6.1 ( 6.1.251 ) です。アプライアンスが以前のバージョンを実行している場合、このメジャーリリースをインストールする前に記載されているバージョンに更新して、アップデートをインストールした後にアプライアンスを再起動する必要があります。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACE システム展開アプライアンスの管理者コンソールにログインして右にある サポートが必要な場合 ペインを開き、ウィンドウの左下にある KACE SDAについて をクリックします。

バージョン 7.0 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SDA の技術仕様で確認できます。<http://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/7.0-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/>.

# 製品ライセンス

現在KACE SDAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SDAをお使いになる場合は、アプライアンスの『セットアップガイド』で製品ライセンスの詳細をご確認ください。「」に移動して、適切なガイドにアクセスします。



注: バージョン 7.0 の製品ライセンスは、バージョン7.0以降のKACE SDAでのみ使用できます。バージョン7.0のライセンスは、KACE SDAの旧バージョン ( 6.0など ) を実行するアプライアンスでは使用できません。



注: アップグレードする前に ステータス概要レポート を確認して、現在のメンテナンスステータスが有効で期限切れでないことを確認します。

# インストール手順

アプライアンスを更新するには、通知更新を使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードします。

# 更新の準備

KACE SDAを更新する前に、次の要件を満たしていることを確認します。

- 現在のバージョン : KACE SDA 7.0 をインストールするために必要な最小バージョンは、6.1 ( 6.1.251 ) です。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACE SDAにログインし、ウィンドウの左下にある KACE SDAについて をクリックします。以前のバージョンのアプライアンスをお使いの場合、7.0 のインストールを行う前に記載されているバージョンに更新する必要があります。
- ディスク領域 : KACE SDAでは20 %以上の空きディスク領域が必要になります。



その他の推奨事項：

- 十分な時間の確保：150 MBを超えるようなサイズが大きいデータベースの場合、更新プロセスに数時間かかる可能性があります。
- 開始前のバックアップ：次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
  - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
  - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
- SSHの有効化：KACE SDA管理コンソールの **セキュリティ設定** セクションで、SSHを有効にします。
- KACE SDAサーバの再起動：アプライアンスのメンテナンス 設定ページで、更新する前にKACE SDAサーバを再起動します。

## 通知更新を使用したアプライアンスの更新

アプライアンスを更新するには、アプライアンスのダッシュボード ページまたは管理者コンソールの アプライアンスのメンテナンス ページで、通知される更新プログラムを使用してください。

**!** **注意:** 更新中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、KACE SDAのすべてのアイテムをエクスポートします。
  - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
  - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**設定** をクリックしてメニューを展開し、次に **アプライアンスのメンテナンス** をクリックして **アプライアンスのメンテナンス ページ** を表示します。ページの下部までスクロールし、**再起動** をクリックします。確認 **ダイアログ** で **はい** をクリックしてサーバを再起動します。
3. 左側のナビゲーションバーで、**設定** をクリックしてメニューを展開し、次に **アプライアンスのメンテナンス** をクリックして「**アプライアンスのメンテナンス**」ページを表示します。
4. **更新の適用** をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。

アプライアンスの更新に必要な時間はKACE SDAにあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に（数回の可能性あり）再起動します。
5. **サーバ更新の確認** をクリックします。

アップグレードが完了すると、アプライアンスは自動的に再起動します。

## アップデートの手動によるアップロードと適用

Quest KACE でアップデートファイルが公開されている場合、ファイルを手動でアップロードしてアプライアンスを更新できます。





**注意:** 更新中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、KACE SDAのすべてのアイテムをエクスポートします。
  - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
  - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
2. ログイン資格情報を使用して、Quest Webサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SDAサーバ7.0の更新ファイルをダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 管理コンソールにログインします。
4. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてセクションを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックしてアプライアンスのメンテナンス ページを表示します。
5. KACE SDAの更新 > 手動更新 で、参照 をクリックして更新ファイルを選択し、開く をクリックします。
6. サーバの更新 をクリックします。

アプライアンスの更新に必要な時間はKACE SDAにあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に（数回の可能性あり）再起動します。

## 追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/technical-documents>)
  - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。 <http://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/7.0-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/>
  - 管理者ガイド：アプライアンスのセットアップと使用の手順です。<http://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/7.0-common-documents/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

## グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースでは、あらゆるシングルバイトまたはマルチバイト文字列をサポートします。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があります。また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています。フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

# 当社について

Quest は、急速に変化するエンタープライズ IT の世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。当社は、Fortune 500 企業の 95 % や Global 1000 企業の 90 % など、100 か国 130,000 社にサービスを提供するグローバルプロバイダです。1987 年以来、データベース管理、データ保護、ID およびアクセス管理、Microsoft プラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Quest を使用することで、組織は IT 管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新により多くの時間を費やすことができます。詳細に関しては、「[www.quest.com](http://www.quest.com)」を参照してください。

## テクニカルサポートのリソース

Quest の有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様、および試用版をお持ちのお客様は、テクニカルサポートをご利用いただけます。Quest サポート ポータルは、<https://support.quest.com> からアクセスできます。

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

## 法的情報

© 2019 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes

to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept

4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Refer to our Web site (<https://www.quest.com>) for regional and international office information.

Trademarks

Quest, the Quest logo, Join the Innovation, and KACE are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. For a complete list of Quest marks, visit <https://www.quest.com/legal/trademark-information.aspx>. All other trademarks and registered trademarks are property of their respective owners.

凡例



**注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。



**重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム展開アプライアンスリリースノート

更新日 - 2019年6月

ソフトウェアバージョン - 7.0